

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	その他レジャー施設 [ アミューズメント ] (職員)	来客数の動き	・正月休みを中心に来客数が増えている。楽しみたいという客が増えているようで、前年比でも増加しているが、深夜の女性客が特に増えている。
		住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・今月は契約高、件数共に過去最高に匹敵するぐらいの出来高である。
	やや良く なっている	百貨店 (販売促進担当)	販売量の動き	・3か月前に郊外にオープンしたショッピングセンターの影響は年が明けていくらか薄れ、売上はやや回復してきている。
		スーパー (統括)	販売量の動き	・暖冬により防寒衣料は前年比98%と多少苦戦しているものの、クリスマスセール以降、年末大締め、年始初売りセール、どんど焼き等、大きなモチベーションに対する来客数、販売量は、食品及び住居関連の伸びが寄与し、全体としては前年比106%と好調に推移している。週末の天候が降雪もなく安定していることも好調の要因である。
		コンビニ (経営者)	来客数の動き	・年末年始に掛けて、近くの大学が休みだったので来客数は減ったが、その分、今まで見えてこなかった子供連れや近所の住民のニーズが見付けられ、新たな客層の掘り起こしが出来つつある。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・忘新年会については1件当たりの人数は減っているものの、件数増でなんとかカバーしている。新年会は入込が悪く心配していたが、1月下旬実施の新年会に前年を上回る予約があったため、しのぐ事ができている。忘年会においては宿泊施設も持ち合わせていることが相乗効果を生んだと考えている。
		ゴルフ場 (従業員)	お客様の様子	・昨年の暮れより会員権の取り合わせ等が多く、会員権売買の動きが加速している。また、相場も上昇傾向である。
	変わらない	百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・客の買い方はやはり慎重で、気に入った物は買うが余計な買物はしないという感じが見受けられる。
		スーパー (経営者)	競争相手の様子	・競合店の出店により、チラシの回数が増え、競争が激化している。
		スーパー (総務担当)	販売量の動き	・1月はやはり暖冬の影響で衣料品関係がかなり悪かったが、食品はあまり変わっていない。全体的にはほぼ前年並みか若干前年を割っている。
		スーパー (販売促進担当)	販売量の動き	・3か月前に比べると衣料品が若干悪くなっているが、その分食品でカバーしているため、店全体では変わらない。
		コンビニ (経営者)	来客数の動き	・近くの単価の安い牛丼店に客が流れ、米飯類の落ち込みが激しい。
		衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・前年同月比では売上高、品数、来客数共に110%台の伸びであったが、3か月前との比較では客単価、一品単価共に20%台の低下である。
		衣料品専門店 (店長)	単価の動き	・1月に入って冬物の値引きセールを企画したために、商品の動きはあったが、暖冬のために防寒物のコートや中綿のブルゾンなどは動きが悪い。ニットやカットソーなどの単品が良かったために前年の売上はクリアできている。
家電量販店 (営業担当)		販売量の動き	・今月は薄型テレビが好調で映像関連は前年比125%であったが、暖冬のために季節商材は前年比75%と厳しい。	
乗用車販売店 (経営者)		お客様の様子	・来客数はあるものの、値段交渉の場面で折り合いがつかない場合がほとんどで、商談が全く成立しない状況である。	
住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・12月に不振であった冬物販売が1月にずれ込むと想定していたが、暖冬の傾向は変わらず、処分が進んでいない。特にファンヒーター、ストーブなどの暖房機器は深刻である。		
その他専門店 [ 携帯電話 ] (営業担当)	販売量の動き	・携帯電話の番号ポータビリティは今月も動きが少なく、現状では忘れられかけているような気もする。1月は数回にわたってキャンペーンを行ったが、台数の伸びに目立った様子はみられない。		

	高級レストラン (店長)	来客数の動き	・年初めは好調であったが、10~20日までのランチタイムの来客数が極端に少なく、サラリーマンやOL客が少しでも安い弁当やコンビニに流れている感じである。
	旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・年明けでまだ動きがないというのが正直なところである。暖冬ということでスキー客の動きがなく、海外もバンコクの事件などで少しマイナスがあり、それほど良い様子ではない。団体、法人もまだ動き出していない。
	遊園地(職員)	単価の動き	・新型アトラクションの効果が継続し、前年を上回る入場者数を確保している。売店、食堂の客単価が上昇してきている。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近、良い場所の物件については非常に足も早く、値引きせず売れるが、少し地の利が悪いと値段も下がり、売れるのも非常に遅い。景気が良いという話を聞くが、当地域は決してそのような状況下になく、空洞化も一向に収まらず、空家、貸店舗等は依然として増えている。一方、郊外の大手チェーン出店は活発である。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・初売りはまずまずの人出があったが、その後のパーゲン是不振で、結局は前年よりも下がっている。
	一般小売店[家電](経営者)	お客様の様子	・必要に迫られての購入が多く、特価売出し、景品等につられての購入はない。年末までは客の購買意欲もあり、売上の伸びも期待していたが厳しい状況である。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・今年暖冬で天候の影響が大きく、ウォームビズは特に袖物、コートの動きが良くない。
	スーパー(経営者)	それ以外	・1月の売上は3か月前、前年比共に4%減である。来客数は前年並みだが客単価は5.5%減となっている。
	衣料品専門店(販売担当)	来客数の動き	・暖冬の影響からか来客数がかなり少なく、来店したとしても単純に見る程度である。厚手の物、コート類などは特に動きが鈍く、薄手の羽織物、インナーは比較的良いが、単価が低いということもあり、枚数もそれほど買わないのでかなり悪い方向に向かっている。
	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・昨年までは前年を上回る月が多く、多少回復に向かったかのように思えたが、年明けからの受注台数、売上高共に前年を大きく下回ったペースで推移している。
	一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・飲酒運転に対する反応で、外では酒を飲まないという客が増え、宴会における酒の量が減っている。また、仲間同士の飲み会も少なくなっているようである。
	美容室(経営者)	販売量の動き	・今月の成人式の客は前年比4割減であった。呉服屋からの紹介客は一般客の半額くらいの料金で着付けをしている上に、人数も減っているため着付け、化粧の売上がぐっと減っている。
	その他サービス[自動車整備業](経営者)	来客数の動き	・車検は年度末に向けて若干の勢いがあるようにみえるが、数値が一向に上がらない。販売ではいよいよ古い車をあきらめて、軽自動車への乗換えが増えている。
	設計事務所(所長)	競争相手の様子	・来客数も少ない上、業者間の仕事の取り合いが生じ、かなり安い入札額で落とす業者が増え、なかなか入札もできない状態である。
悪くなっている	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・今は学生服、運動着の販売時期だが、古い物をもらうなど販売に結び付かない状況が続いている。また、雪も降らないため、良くなるという要素が全くない。
	乗用車販売店(販売担当)	来客数の動き	・3~4か月前は広告宣伝をすると、そこそこの販売量があったが、12~1月は宣伝しても来客数が激減しており、販売量も落ち込んでいる。
	スナック(経営者)	来客数の動き	・日中は今までと特に変わらないが、夜の人出が最悪の状況で、フリー客は前年の3分の1ぐらいまで減少している。宴会需要はそれほど減っていないものの、二次会までは行かないよう引けが早くなっている。夜10時以降はほとんど通行人がいなくなり困っている。

		タクシー運転手	お客様の様子	・今年辺りは新年会などでもう少し動くと思っていたが、週末でも深夜などは客が少ない。
企業動向関連	良く なっている	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・稼働日数が少ない分、忙しく感じる状況である。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・空室だったテナントの賃料が予定どおり今月から発生している。賃貸面積が大きいので、賃料の増加分は大きい。
	やや良く なっている	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年が明けてから、受注が良くなってきており、工場もフル稼働している。忙しい部門に人員を再配置したりと、活気が出てきている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に増加傾向にある。年度末に対する駆け込み物件も多くなってきている。
変わらない		食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・一部の中小メーカーでは自社農園産の原料を主体とした付加価値の高い商品が善戦しているが、業界全体としては相変わらず苦戦している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・仕事の谷間に当たる時期だが、新製品の動きが多少あり、受注量はさほど多くはないが、例年よりわずかに良い動向である。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・特装車両関係の受注は、1年のうちで12～1月が一番の底で、2～3月は増加する傾向にある。工作機械、産業機械、大型のコンプレッサー等は、年間平均して2007年も夏ごろまでは大変良いという見通しである。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・建設機械、油圧機器関連の仕事が依然として好調である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3年前から中国生産になっていた製品が品質の問題で今月よりまた当社で組立するよう取引先から依頼があったが、中国製部品使用のため、生産の具体的な日時はまだ決まっていない。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は大規模な国際宝飾展が行われた。新商品を積極的に開発、提案した結果、当社の売上は前年を上回ることができたが、出展した企業の多くは前年比70～90%の売上であったということで、今後の展開はまだ楽観できない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・現在の暖冬のため、暖房家電商品等の動きは例年より悪いようだが、全体的には前年並みの輸送である。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・暖冬の影響は様々であるが、天然スキー場の降雪量が少ないことから、人工スキー場の来場者は例年より多くなっており、活況を呈している。遠隔地からの客もかなり来ているようである。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	取引先の様子	・暖冬で量販店では雪かき、長靴などの冬場商品が全く売れていない。小売店でも冬物衣料は在庫になりそうだと聞いている。一方、百貨店外商の話では個人消費は着実に増えているとのことである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・設備投資が一巡し、今後は投資回収のための業績アップを見込んでいるが、まだ目立った効果が得られていない。
やや悪く なっている		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が激減しており、それに伴って売上、利益も少なくなっている。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・委託作業をサービスとして要求される事が多くなってきている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度の販促予算組みがピークを迎えているが、大きな伸びは無い。相変わらず広告制作の競合見積りにより、単価が下がって薄利状態である。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・大型スーパー閉店による心理的影響もあり、商業、サービス業のスポットコマースが減少に転じている。タイムコマースは電機、自動車産業等の製造業は横ばいであるが、官公庁からの受注が3%程度減少している。
悪く なっている		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が前年比で5～10%程度落ち込み始めている。特に収益状況をみると原材料高が収益を圧迫しており、月次決算のなかでは粗利益、経常利益共に赤字幅が拡大しつつあるという状況になっている。

		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共事業主体の企業のため、今期4か月経過で受注高は前年比90%となっている。前期が大幅赤字だったので、今後の受注に全力を注がないと連続赤字になりかねない。大変厳しい状況である。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業からの派遣要請が多くなって来ているが、それに見合う派遣スタッフが整わないのが現状である。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・1月中旬から求人募集広告が大変増えているが、各業種にわたる求人のため、なかなか人を集めにくい状況である。特に医者、介護関係は伸びてきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・小企業、零細企業からの求人が出てきているので、やや良くなっている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・平成18年12月の紹介就職者数は前年比で4.8%増加し、11か月連続で前年比を上回っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年比、前月比共に増加している。増加要因の一つに派遣求人の増加が上げられるが、その増加分を除いても求人数は増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・小売販売、サービス等の求人数はかなり活発さをみせている。電子、機械、自動車関連、住宅関連については求人の割に求職者数の動きが少ないようである。今後も求人の活発さに比べ、求職者はあまり見込めないのではないかとみている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・年が明けても相変わらず人材派遣、業務請負の募集が多く、正社員募集は極端に少ない。周辺の大手企業では、春の新卒採用を控え、この時期は社員の募集はほとんどない。
		職業安定所（職員）	それ以外	・新規の求人数は徐々に減少してきているが、求職者数も増えたり減ったりで、求人倍率自体はほぼ横ばいである。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・派遣求人が多く、正社員求人は目立つ動きがない。
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	-